部活動などの活躍

国語、社会、美術などの文化的分野でも、南千住二中は、大活躍！
「俳句ハイク」特選の〇〇さんの作品は全90句の中から選ばれました。「図書館を使った調べる学習コンクール」教育委員会賞の〇〇さんと〇〇さんの作品は、全1311点の上位3点中の2点という快挙です。

《「放置自転車ゼロをめざして」ポスターコンクール》
最優秀賞　〇〇〇〇さん（2-1）
《薬物乱用防止ポスター》
佳作　〇〇〇〇さん（2-2）

《税についての作文》
優秀賞　〇〇〇〇くん（3-1）、〇〇〇〇くん（3-1）
奨励賞　〇〇〇〇さん（3-1）
《税の標語》
入選　〇〇〇〇さん（1-4）

《俳句展示会》
中学生の部　〇〇〇〇くん（3-1）
《荒川区俳句ハイク》
特選　〇〇〇〇さん（2-3）

《荒川区図書館を使った調べる学習コンクール》
教育委員会賞　〇〇〇〇さん（2-3）
〇〇〇〇さん（2-3）

《バレーボール部》
荒川区1年生大会
第3位

南千住マイスターのコーナー

南千住の史跡・文化財 第9回
『光の球場（東京スタジアム）』

前号で紹介した赤レンガ塀の千住製絨所は、戦後、大和毛織が操業を受け継ぎましたが昭和35年に閉鎖されます。その跡地にできたのがプロ野球パリーグ（パシフィックリーグ）、大毎（毎日大映）オリオンズの本拠地となった「東京スタジアム」、通称「東京球場」です。当時、在京球団の読売ジャイアンツ、国鉄スワローズ、そして大毎オリオンズは、いずれも後楽園球場（現・東京ドーム）を本拠地にしていました。当然日程は過密になり、大毎は自前の本拠地球場の建設を目指しました。いくつかの候補地の中から選ばれたのが、千住製絨所跡地でした。

製絨所閉鎖から1年で着工、さらにわずか1年後の1962年5月31に竣工しました。同6月2日にはパリーグ6球団が集結し、開場式が盛大に行われました。時は巨人のV9全盛期で、プロ野球はセリーグ（セントラルリーグ）偏重の感がありました。開場式では大毎のオーナーが「パ・リーグを愛してやって下さい!」と満員（35、000人）に膨れ上がったスタンドに向かって叫んだといわれます。

球場初となるプロ野球公式戦は、同日午後7時から行われた大毎オリオンズ対南海ホークス戦で、野村克也選手が球場第1号のホームランを放っています。野村氏はヤクルトスワローズや田中将大選手を育てた楽天イーグルスの監督を務めた、あの「ぼやき」で有名な名将です。大毎オリオンズはその後、東京オリオンズ、ロッテオリオンズ、千葉ロッテマーリンズと名を変え、現在に至っています。当時の南千住には高い建物もあまりなく、最新の電光掲示板や照明灯による強烈なナイター照明で、「光の球場」と親しまれていました。また、ボーリング場やシーズンオフにはアイススケートリンクなども設置され、「下町の太陽」とも呼ばれていました。

光の球場は1972年に閉鎖されるまで賑わいを見せ、その後、現在の荒川スポーツセンターに姿を変えています。

光の球場
東京スタジアム

題字;校長 齊藤 進

学校だより
平成29年1月
第 70号
荒川区立南千住第二中学校

ナンちゃん・ニーくん

克　己
～あきらめることなく挑戦しよう！～

校長　齊藤　進

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
さて、箱根駅伝は選手にとって夢の舞台です。もしあなたが箱根駅伝の出場有力選手だとします。ところが、体調が思わしくなくなかなか回復しません。駅伝が近づいてきたある日、監督から「体調はどうか。箱根は出られるか。」と聞かれたとします。その時、あなたはどう答えますか。

1月2日、3日に第93回箱根駅伝が行われました。今年も感動のドラマが繰り広げられましたが完全総合優勝を勝ち取ったのは青山学院大学でした。出雲・全日本・箱根の三冠と箱根3連覇の同時達成は史上初で、往路・復路を制しての総合優勝3連覇は昭和12年の日本大学以来80年ぶり2校目の快挙だそうです。昔から応援し続けてきたアオガクOBとしては感慨無量です。アオガクはなぜ強いのか。『魔法をかける』（青山学院大学陸上部　原晋監督著）を読むとその謎が解けます。原監督は安定したサラリーマン生活と決別し結果が出なければ将来の生活保障もない監督に挑戦しました。5年で箱根に出場し10年後に優勝というビジョンを大学に示しましたが、優勝どころか箱根出場も叶わず、周囲からは監督失格のらく印を押されてしまいます。それでもあきらめず、もう一度チャンスを下さいと大学に必死に頼みます。
さて、冒頭の監督からの選手への問いかけは実際に原監督がある選手に行ったものです。その選手は「箱根に出場することが目標なら自分を出してください、優勝を目指すのなら自分を外してください。」と答えたそうです。そうしたことを言わしめる選手を育て上げたところが原監督の素晴らしさだと思いました。普通なら体調不良であっても「大丈夫です。行けます」と答えるでしょう。こうした選手がいるチームは強いはずです。

駅伝選手と受験に向かう3年生の姿が重なります。**今、3年生は不安な気持ちを抱えながら懸命に目標に向かってがんばっています。そんな3年生に克己（こっき）「おのれに打ち勝つ」という心をもってほしいと思います。**駅伝選手は仲間にタスキをつなぐために、各区間を一人の力で走り抜けなくてはなりません。誰の力も借りることなく孤独と戦い、弱気な自分と戦いながら走ります。3年生は目標に向かう駅伝選手なのかも知れません。心の中で3年生に応援の旗を振り続けたいと思います。

『風が強く吹いている』（三浦しをん著　新潮文庫）。私の推薦図書です。ぜひご一読を。

箱根駅伝を走りたい――「駅伝」って何？ 走るってどういうことなんだ？ 10人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦し、ゴールを目指してタスキを繋ぐことで、仲間とつながっていく……風を感じて、走れ!「速く」ではなく「強く」
――純度100パーセントの疾走青春小説。

東京消防出初式

1月6日（金）、**東京消防庁の出初式**が東京ビッグサイトで行われました。
出初式の歴史は古く、江戸時代から350年にわたり受け継がれてきました。
今ではお正月の風物詩のひとつに数えられており、全国各地で行われています。
なかでも東京消防庁の出初式は最大規模で、毎年その様子はテレビでも紹介されています。
レスキュー部では、これまでの活動が認められ、昨年「都民演技隊」として式に初めて参加。
今年は招待を受けて、2年生のスーパーレスキュー部員4人が式の様子を見学し、救急車や化学消防ポンプ消防車、最大50mの高さまで届くはしご自動車などの特殊車両の体験乗車や実際の消防服の試着などを行いました。**会場では、消防隊員の方々から、「南千住二中のレスキュー部の皆さんですね!」と声を掛けられることもあり、中学生の防災部として広く認知され、注目されていることを感じました。**また、見学や体験を通して、改めて防災意識を高める大変有意義な一日となりました。

一斉放水のようす

体験コーナー(消防車)

体験コーナー(救急車)

実際の消防服を試着して満悦の表情。

タコあげ大会ボランティア

1月8日（日）、南千住地区委員会**「新春タコあげ大会」**が荒川総合スポーツセンターの大体育室と野球場を会場に行われました。タコあげ大会は、正月の恒例行事として南千住地域で親しまれており、今年も小学生とその保護者の皆さん合わせて300名以上が参加しました。
南千住二中レスキュー部は、毎年ボランティアとして子どもたちのタコ作りの手伝いを行っており、今年も11人が参加して、1ヶ月前からタコ作りの練習会などに臨みました。**練習の成果もあって、当日は、タコ作りの補助やタコあげの手伝い、会場設営などで大活躍。来場者、南千住地区委員会の方々から大変喜ばれました。**ボランティア参加者の皆さん、お疲れさまでした。

ボランティア参加者の皆さん

小学生のタコ作りのお手伝い

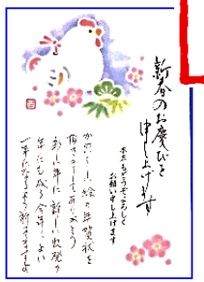
タコあげ大会ボランティア参加者

最後はみんなでタコあげを楽しみました！！

絵や文字を書いて仕上げ

地域の皆さまからの年賀状

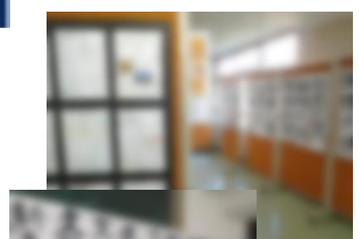
昨年レスキュー部が年賀状をお送りした近隣の皆さまや一人暮らしの高齢者の方々から南千住二中にたくさんの年賀状が届きました。干支のトリにちなんだ筆書きの絵が描かれたものやレスキュー部員に宛てたメッセージが書かれたものなど、どれも趣向を凝らし、心遣いあふれるものばかり。
3年生に向けては、**「高校受験頑張ってください」という応援の言葉がいくつも書かれていました。**
また、「心と力をあわせていつも見守ってくださってありがとうございます」など感謝の言葉も書かれており、絆ネットワークの活動が近隣の皆さまとの絆を育み、万一のときの心の支えとなっていることが伺え、これからの活動の大きな励みとなりました。皆さまからの年賀状は、レスキュー部や職員一同で拝読させていただきました。心温まるメッセージの数々、本当にありがとうございました。

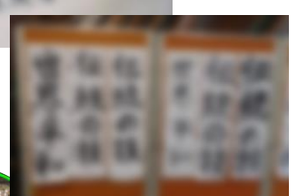


いただいた年賀状の一部を紹介します。

校内書き初め展・作品展示会

1月11日（水）から南千住二中では、**「校内書き初め展」および「作品展示会」**を行っています。書き初めは新年に、“今年が良い年となりますように”という願いを込めて行う行事で、毎年冬休みの宿題として全校生徒が取り組んでいます。今年も一文字一文字に思いを込めた力作が揃い、各クラスの有志たちによって、学年のフロアや教室の壁面などに展示されました。力強い書道作品が一堂に集められ、迫力にあふれています。
「作品展示会」では、1年生の「職業調べ新聞」や2年生が家庭科の授業で作った「ミニチュアパーカー」、3年生が技術の授業で作った「LEDあんどん」、さらに全学年の女子が保健体育の課題として取り組んだ「保健レポート」などの作品が展示されています。書き初め展も作品展示会も1月27日（金）まで作品展示を行いますので、保護者、地域の皆さまもこの機会にぜひご参観ください。
なお、これらの中から特に優れた作品は、1月27日（金）～30日（月）の4日間に町屋文化センターで行われる「荒川区立中学校連合作品展示会」に出品されます。区内全公立中学校の優秀作品が集まりますので、こちらにもぜひ足を運んでください。出品者や展示場所などについては、後日改めてお知らせいたします。





上：1学年フロア
中：2学年フロア
下：3学年フロア

左：2年生、ミニチュアパーカー

右：1年生、職業調べ新聞